

相 談

新型インフルエ ンザの相談窓口 について

鳥取県では、新型インフルエ
ンザの相談窓口を設置しています。
発熱・頭痛・呼吸器症状（咳・
のどの痛み・鼻水など）のある方
は、まず総合発熱相談センターに
ご相談ください。

身体障害者 巡回相談

- ◆相談科目 耳鼻科
- ◆日時 7月30日（木）
受付 13時30分～14時30分
診察 14時30分～15時30分
- ◆場所 保健福祉センターなわ
- ◆定員 10人（申し込みが必要）
- ◆相談内容
・身体障害者手帳診断書の作成、
等級変更
・身体障害者手帳所持者で、補
聴器交付などの判定
・更生援護施設利用に関する相談
・身体に障害がある方の更生相談
◆持参する物
身体障害者手帳、印鑑、使用
している補聴器
- ◆申込み期限 7月21日（火）
- ◆申込み・問い合わせ先
福祉保健課
☎0859・54・5207
中山支所総合窓口課
☎0858・58・6112
大山支所総合窓口課
☎0859・53・3311

Health

診療所 待合室

新任にあたって



名和診療所 所長
佐々木修治

4月1日から名和診療所で勤務させていたでいます。佐々木修治です。今回この枠を初めて使わせていただくにあたり、何を書こうかと考えました

が、まずはどんな医者が来ているのかを町民の皆様にある程度でも知っていただければと思います。自己紹介と名和診療所に赴任してから思っていることを書かせていただくことにしました。

生まれは岡山県倉敷市で、5歳のときに日野郡江府町に引っ越してきました。大山町と同じくらいか、それ以上田舎です。鳥取には畑も田んぼもあり、鳥取に帰ってきたころには牛も飼っていました。小学生くらいに初代ファミコンが出た世代ですのでテレビゲームなどもしましたが、外で遊ぶことが多かったです。軟式テニスや盛んな地域でしたので、小学生の時には選択の余地なく全員テニスをさせられるというシステムでした。また江府町には2カ所のスキー場があったので、スキーも物心つく前からさせられていました。自分で選んだ競技ではないのですが、ずっと続けていて、この二つが私の趣味になっています。医者になつてからは時間がなくスキーはできていませんでしたが、せつかく大山町に赴任したからには今年の冬は行きたいと思っています。米子東高でも3年間は部活で軟式テニスばかりしていたので、1年専攻科で浪人しましたが、翌年に栃木県の自治医科大学に入学しました。

卒業後は鳥取県立中央病院で2年、南部町の西伯病院で3年勤務してきました。西伯病院2年目からは鳥取大学医学部大学院に夜間や週末などに通って勉強させていただきました。現在は胃がんについて大山町出身の先生に指導していただきながら研究しています。

大山町は胃がん検診受診率が県の平均より低いこと、検診がバリウムの検査のみで、胃カメラの検査を選択できない点が今後の改善すべき点だと考えています。名和診療所では町民の皆様のために全力で頑張りたいと思います。特に胃がんの早期治療につながるよう、早期発見を目指して胃カメラなどの検査を積極的にやっています。